

地方独立行政法人山口県産業技術センター評価委員会（第13回）の審議要旨

- 1 日 時 平成25年10月22日（火） 10:00～11:30
- 2 場 所 山口県庁 共用第2会議室
- 3 出席者 三浦房紀委員長、上田文雄委員、魚谷礼子委員、加登田恵子委員、正木圭子委員

（委員会の内容）

I 報告

第12回審議要旨について

→資料1により、事務局から前回の審議要旨を説明

《各委員了承》

II 議題

① 第2期中期目標（案）について

→ 資料2により、事務局から説明

《質疑等なし、各委員了承・中期目標（案）の承認》

② 第2期中期計画（素案）について

→ 資料4により、法人から説明

《資料説明後、質疑応答・意見交換》◆委員長 ●委員 □事務局 ○センター

- 県内中小企業の経営者の世代交代が進み、下請けからメーカーへの転換を目指していることに配慮する必要がある。
- 地域の金融機関等の異業種交流事業等を活用し、次代の経営者との交流を進め、ネットワークを強化する。
- 「やまぐちブランド技術研究会」の分科会の見直し等を今後行う予定はあるのか。
- 今年度も分科会の見直しを行っており、社会情勢の変化に応じて随時見直しを行っていく。
- 3次産業については、メンテナンス等を含めて幅広く捉えることが重要である。
- 医療関連産業は、県内に立地する大手企業と県内中小企業がどう連携していくかが重要である。
- 10月24日に医療関連の協議会を立ち上げる予定であり、その中でどのような連携が可能であるかなどを検討していきたいと考えている。
- 1次産業や3次産業に対する技術支援に取り組んで欲しい。

- 1次産業や3次産業の生産性向上等を目的としたニーズに対して、地域の2次産業のシーズで対応する取組を進めたい。
- 職員研修は重要なので、予算をかけて取り組んで欲しい。
- パンフレットの発刊等センター業務の「見える化」に取り組んで欲しい。
- ◆ 県内企業の海外展開への支援が中期計画に記載されていないが、どのように取り組んでいくのか。
- 今年度より新産業振興課が県内企業の海外展開支援を所管することになったため、現在当課において支援の仕組み等を検討している段階であり、中期目標や中期計画には明示していない。
- ◆ 第2期中期計画（素案）については継続審議とし、次回の評価委員会で再度検討したい。

《各委員了承》